

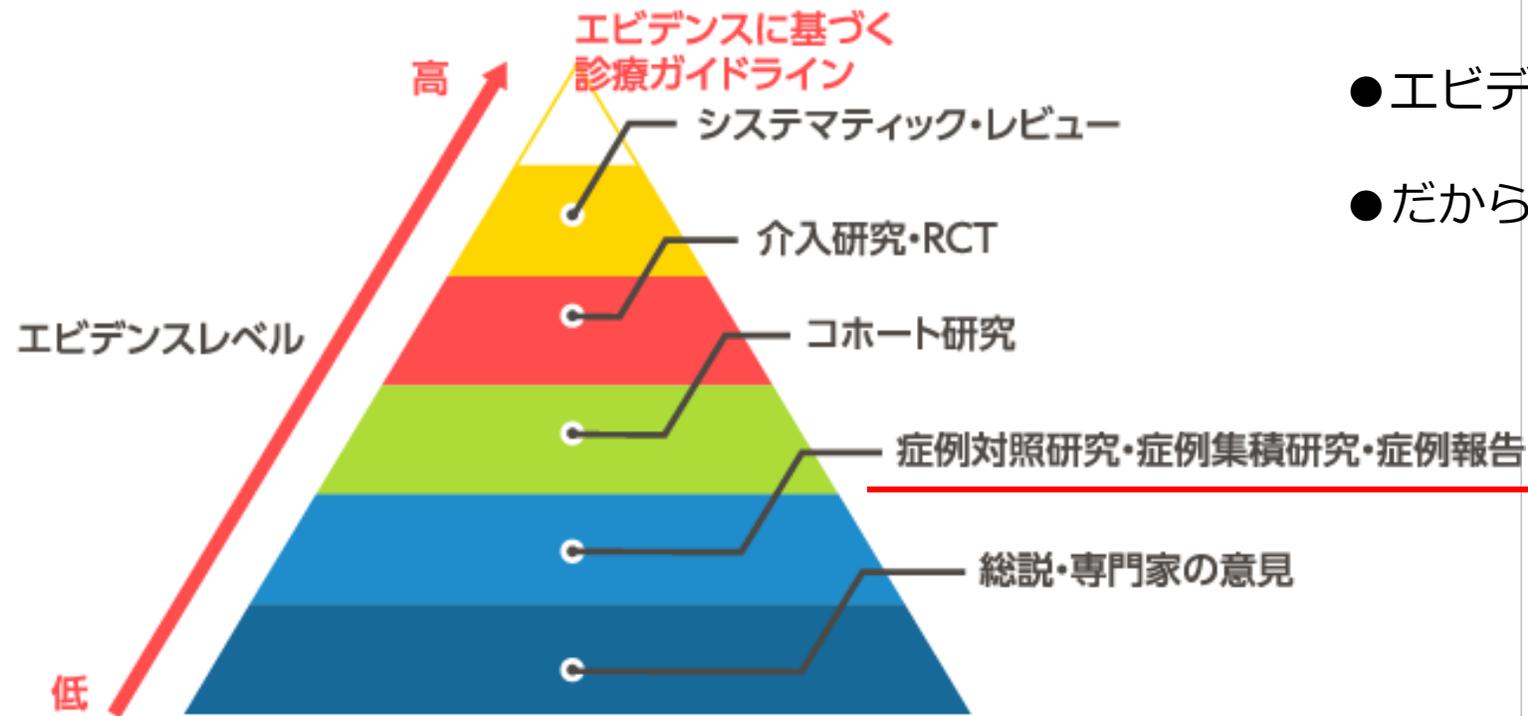


# 島根県理学療法士学会

# 症例報告の大切さ

一般社団法人 島根県理学療法士会 学術局 学会運営部・研究支援部

# エビデンスレベルの中の症例報告



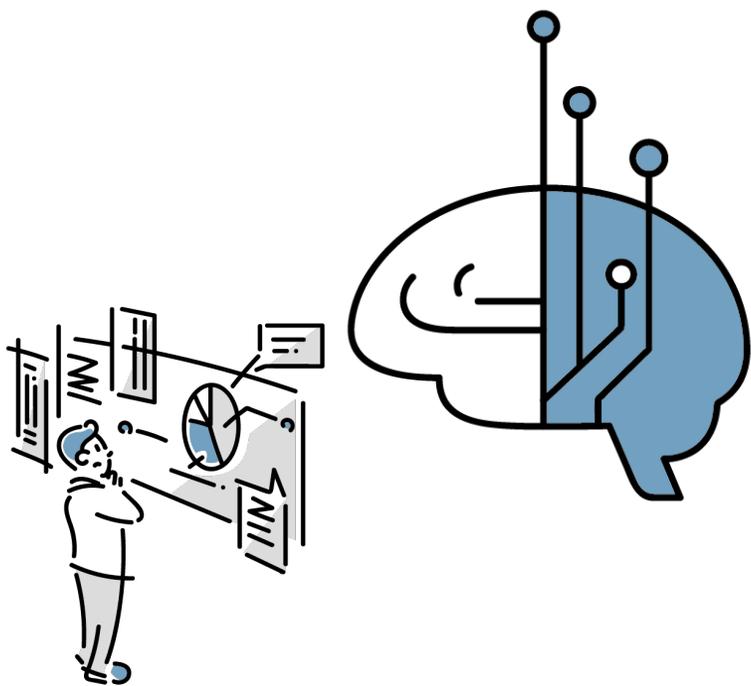
- エビデンスレベルの階層は低い？
- だから症例報告は意味がないのか？

＼ そんなことはないっ！ ／



# 症例報告による歴史上重要な発見

ブローカ野と運動性失語の関連性は、一人の症例から報告された



1861年、フランスの神経科学者ポール・ブローカは偶然、言葉を理解することは出来るが話すことが出来ない男性ルボルニュに出会い、後に彼の損傷部位が左前頭葉にあることをつきとめこの領域はブローカ野と呼ばれるようになった

# 目の前の症例について 疑問に思うことはありませんか？

珍しい疾患を持つ症例だけど  
これからどんな経過を辿るのだろうか？

この新しい介入方法は本当に  
効果があるのだろうか？



今までに研究されている介入方法だけど  
こんな状態の症例にも効果があるのだろうか？

介入に難渋しているけど、これって一般的？

同じ疑問を持っている臨床家がきつといます

# 症例報告の意義



- 類似した症例を担当する  
未来の臨床家の役に立つことができる
- 臨床疑問に対する  
新しい仮説を生成することができる
- 症例報告に関する一連のプロセスが  
報告者の成長に繋がる

あなたの症例報告が理学療法の発展につながります

# 共通性と個別性

日々の臨床で診療する数  
症例報告の数

多

## 共通性を報告

一般的な疾患や経過である場合、その傾向についての共通性を調査報告という形でまとめていくと良い。比較試験などができなくても、医学論文としての主張はできる。

## 個別性を報告

一般的な経過からかけ離れ、日々の臨床で診療する数や文献検索での症例報告数が少ないほど症例報告での意義が高い。

## 個別性を報告

どうすると良くなるのか  
アドバイスなども含めた報告が望ましい。

少

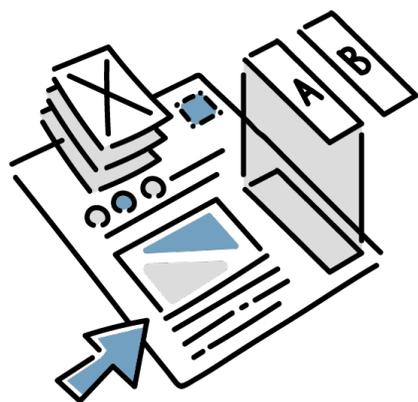
経過不良

一般的な疾患・経過

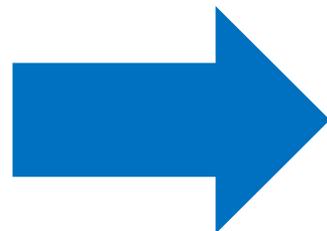
経過良好

# 個別性から共通性へ発展する可能性

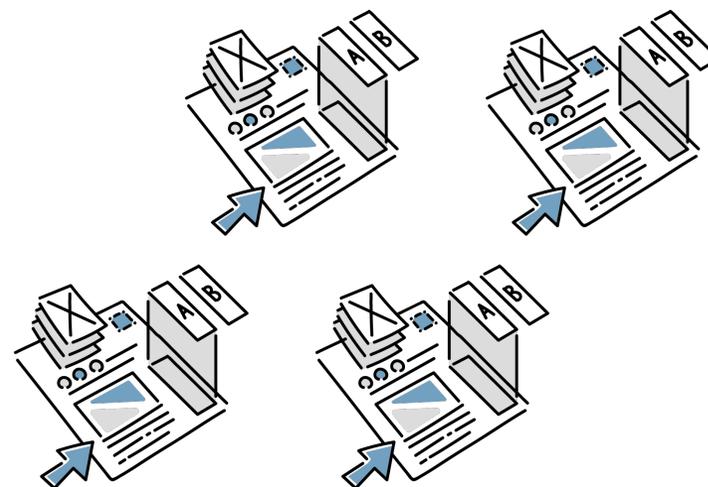
個別性



なるほど！そうか！

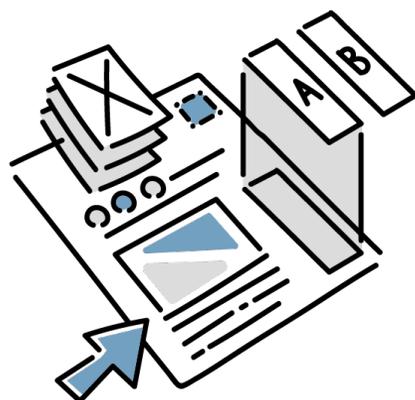


共通性



個別性が高いと考えられていた報告が、10年経過した後にたくさん報告されるようになるなど共通性へと変化し医学界の発展につながる可能性を秘めている。

# 症例報告の例



- 稀な疾患
- 一般的な経過とは異なる症状の出現や予後
- 新たな介入方法の効果検証

現実的な制約が生じる個別性が重視される患者や、  
共通的な治療経過から逸脱するような稀な患者などは報告意義がある

# 稀な疾患・病態や経過と理学療法



- ✓ 疾患自体が稀
- ✓ 疾患に対する理学療法の介入報告が稀
- ✓ 疾患は稀ではないが病態が稀
- ✓ 理学療法介入経過が稀

理学療法に関する経過の報告がない症状の場合などは症例報告で発表する意義がある。

# 新たな手法・理学療法



- ✓ 新たな手術や薬剤治療後の理学療法の介入
- ✓ 新たな理学療法介入方法の検討

新たな手法とその後の理学療法に対する介入の効果検証の方法が少ない場合などは症例報告の意義がある。

# 第19回県学会の最優秀賞は症例報告です



## 【最優秀賞】

- ・ 佐藤 慎也（島根大学医学部附属病院）
- ・ 人工股関節全置換術後患者のQOLと疼痛に対する情動および認知的側面の関連～ 1 症例による検討～

## 【グリーンアカデミー賞】

- ・ 井上 魁（島根県立中央病院）
- ・ 転落外傷の下肢多発骨折により生じた大腿神経麻痺に対して長下肢装具を使用したことにより歩行が自立した一症例

症例報告がきちんと評価される学会です

# さいごに



## 発表ポイント 20

島根県理学療法士学会でも一般演題発表ポイントが得られます。  
演題発表が、あなたのキャリアを広げます。

＼これで、おしまい／

# 参考になったでしょうか？



目の前の症例について考えていくと、  
まだ明らかになっていない疑問が浮かび上がってきます

共に学びましょう。  
共に進みましょう。

皆さんの **1歩** を楽しみに待っています。



# 島根県理学療法士学会

## 共に学ぶ、みんなて学ぶ

皆さんの「その1歩」、お待ちしております。

一般社団法人 島根県理学療法士会 学術局 学会運営部・研究支援部